



令和2年度 果樹情報 第15号

(令和2年11月6日)

福島県農林水産部農業振興課



1 気象概況 (果樹研究所)

10月の平均気温は14.3℃で平年より0.5℃低く経過しました。降水量は66mmで平年比61%、日照時間は114.8時間で平年比70%といずれも平年より少なく経過しました。

2 土壌の水分状況 (果樹研究所)

11月4日時点の土壌水分 (pF値：果樹研究所なしほ場：草生・無かん水) は、深さ20cmで2.4、深さ40cmで2.1、深さ60cmで2.1となっており、適湿状態にあります (図1)。

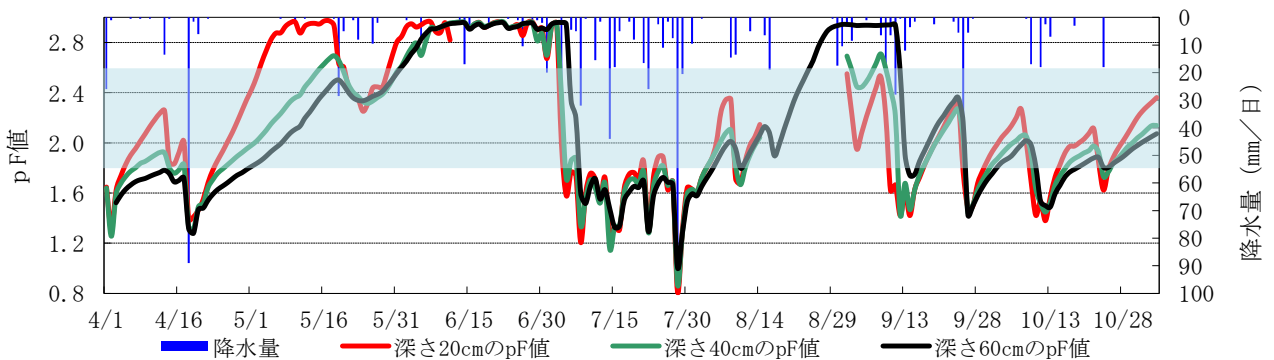


図1 土壌pF値の推移 (果樹研究所なしほ場：草生・無かん水)

図中の網掛け部は、適湿の範囲 (pF1.8-2.6) を示します。

3 生育概況 (11月1日現在、果樹研究所)

(1) りんご

ア 果実肥大

果実肥大を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が79.8mmで平年比94%、横径が86.7mmで平年比97%と平年よりやや小さくなっています。満開後日数の体積指数で比較すると、平年比88%で平年より小さい状況です。

イ 主要品種の収穫期と果実品質

「王林」(マルバカイドウ台)の収穫盛期は10月30日で平年より5日遅く、果実重は328gと平年よりやや大きく、糖度は13.1と平年より低い状況でした (表2)。

表2 りんご主要品種の収穫期と果実品質

品種	収穫開始日			収穫盛期			収穫終期			果実重			糖度		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
つがる	8/25	8/29	8/26	8/26	9/3	8/26	9/2	9/8	8/29	244	284	336	12.8	12.7	12.4
シナノスイート	10/5	10/5	10/10	10/8	10/9	10/14	10/13	10/14	10/24	252	331	431	16.0	14.7	13.7
王林	10/27	10/23	10/22	10/30	10/25	10/24	11/4	10/29	10/26	328	311	379	13.1	14.2	12.9
ふじ	未	11/13	11/11	未	11/16	11/18	未	11/26	11/27	未	352	380	未	15.3	14.1

注) 平年値は、「つがる」は1976~2013年、「シナノスイート」は2012~2016年、「王林」は1981~2013年、「ふじ」は1976~2013年の平均値。未は未確定値。

ウ 「ふじ」の成熟状況

「ふじ」の満開後179日（10月28日）の成熟調査では、硬度は12.1ポンドで平年より低く（図2）、デンプン指数は4.9で平年より高くなりました（図3）。果皮に含まれるクロロフィル含量は平年より低く（図4）、アントシアニン含量は平年より高く推移しています（図5）。

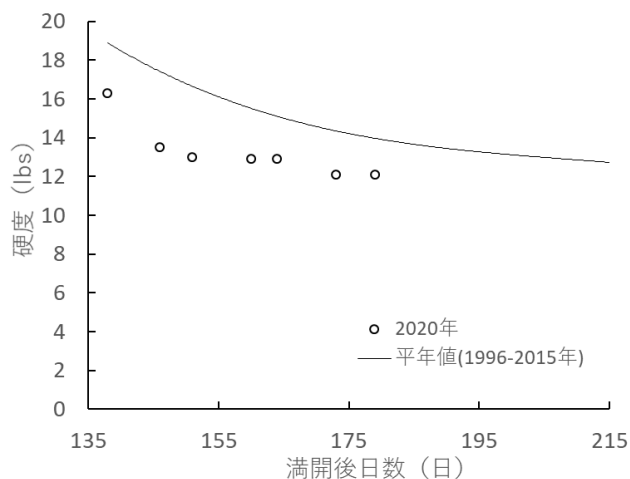


図2 「ふじ」の果肉硬度の推移

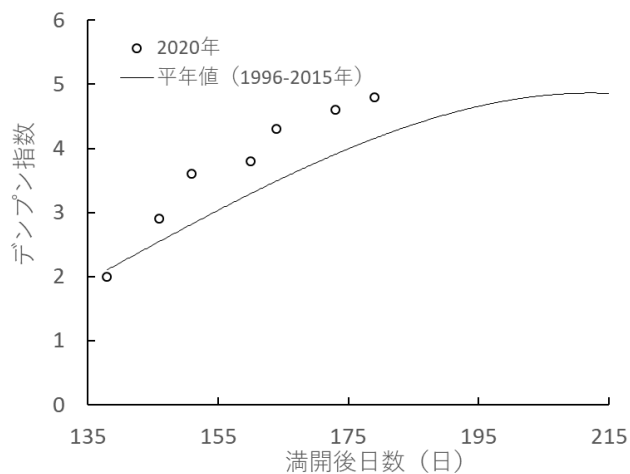


図3 「ふじ」のデンプン指数の推移

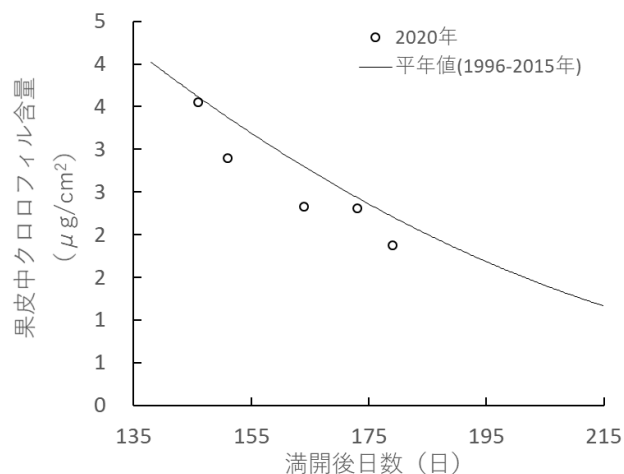


図4 「ふじ」のクロロフィル含量の推移

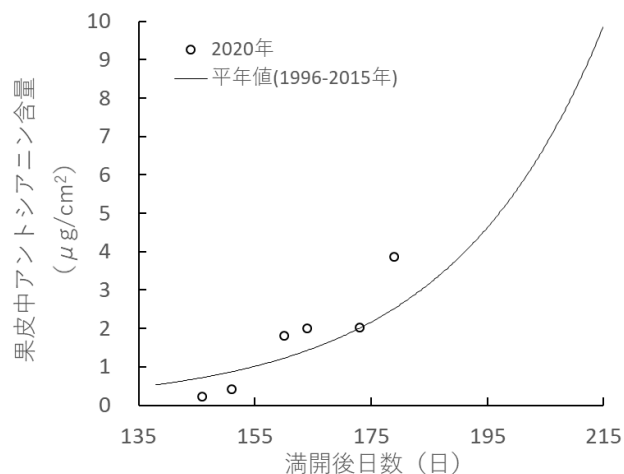


図5 「ふじ」のアントシアニン含量の推移

気象庁[営農活動に役立つ気象情報] <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/nougyou.html>

4 栽培上の留意点

(1) りんご

ア 「ふじ」の収穫

生育日数でみた「ふじ」の果肉硬度は、平年より低く推移しています。収穫に当たっては、蜜入りの状態に加えて、果実の着色、地色及び食味等により総合的に判断しましょう。

5 病害虫防除上の留意点

(1) 病害

ア なし黒星病

なし黒星病の発生が多かった園では越冬菌密度の低下を図るため、秋期防除を徹底しましょう。

11月中旬頃までは翌年の芽基部病斑の発生原因となる病原菌の芽りん片生組織（図6）への感染の可能性が高いため（図7）、落葉率80%頃を最終散布の目安とし、オーソサイド水和剤80を600倍に希釈して散布しましょう。また、防除を行う際は、枝の先端まで薬液が十分量到達するように散布しましょう。

なお、病原菌は罹病落葉でも越冬し、翌年の重要な伝染源となるため、落葉処理も併せて実施しましょう。

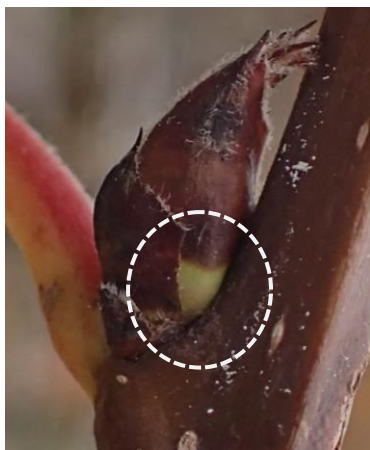


図6 露出した芽りん片生組織(芽内)

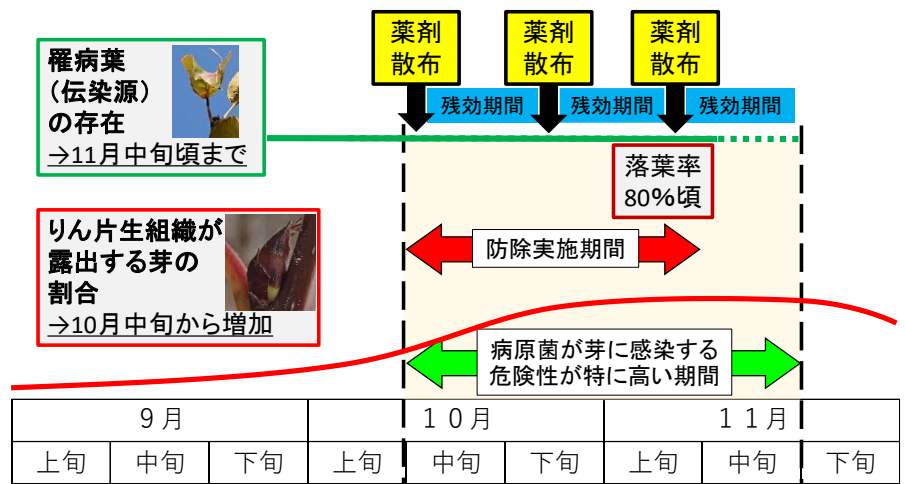


図7 なしの生育及び病原菌の生態に基づく10月中旬以降の秋期防除の考え方

病害虫の発生予察情報・防除情報

病害虫防除所のホームページに掲載していますので、活用してください。

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬散布は、農薬の使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

発行: 福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>